

opack^{オーパック}めーる

Organization for Promotion Academic City by Kyushu University

九大学研都市駅
イオンモール福岡
伊都
MJR九大学研都市駅前1F
OPACK

<http://www.opack.jp/>

ー「九州大学学術研究都市」セミナーin名古屋2014 開催ー

平成26年9月18日(木)、愛知県名古屋市の名古屋東急ホテルにおいて、「産学官連携による水素エネルギーの産業化を目指して」と題してOPACK主催のセミナーを開催し、自動車関連産業を中心に幅広い業種の企業から127名もの参加をいただきました。

昨年12月に「究極のエコカー」と言われる燃料電池車が市販開始されるなど、水素エネルギー社会の実現に向けた関連各所の取り組みも加速している情勢を踏まえ、とりわけ福岡県、特に九大学研都市エリアが、水素エネルギー関連の研究開発に取り組む日本の先進地域であることをアピールするため、昨年度に引き続き、自動車関連産業の中心都市である名古屋で九大学研都市エリアの産業化に向けたアドバンテージを紹介しました。

セミナーでは、まず講演に先立ち、OPACKから「魅力ある九大学研都市づくりへの取り組み」と題して、当該エリアでの最先端研究プロジェクトや研究・試験施設の集積状況等を紹介しました。

講演では、九州大学水素エネルギー国際研究センター長の佐々木一成主幹教授による「九州大学における水素・燃料電池の取り組み」や、東レ(株)A&Aセンター所長の北野彰彦氏による「モノづくりを変革する炭素繊維複合材料」、JX日鉱日石エネルギー(株)中央技術研究所上席フェローの斎藤健一郎氏による「燃料電池車普及開始に向けた水素インフラ構築への取り組み」など、水素エネルギーに係る産学各々の立場から、現状の課題や今後の展開について興味深い発表が行われたほか、九州大学共進化社会システム創成拠点長の是久洋一氏から、平成25年11月にスタートした「九州大学COIプログラム:共進化社会システム創成拠点」についてのプロモーションが行われました。

セミナー後の交流会では、講演者・参加者でセミナーに引続き、熱心な意見交換が行われ、大盛況のうちに終了しました。



写真:セミナーの様子



写真:講演の様子
(九州大学水素エネルギー国際研究センター長 佐々木一成主幹教授)



写真:講演の様子
(東レ(株)A&Aセンター所長 北野彰彦氏)

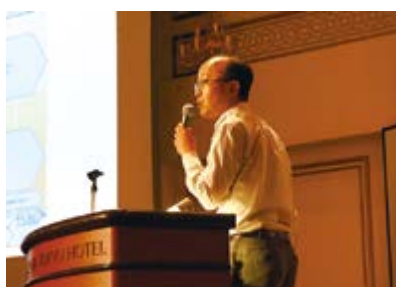


写真:講演の様子
(JX日鉱日石エネルギー(株)中央技術研究所上席フェロー 斎藤健一郎氏)



写真:講演の様子
(九州大学共進化社会システム創成拠点長 是久洋一氏)



写真:交流会の様子

年頭にあたって

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 理事長 貫 正義

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、日頃より九州大学学術研究都市構想の推進に對しましてご尽力、ご支援頂き深く感謝申し上げます。

昨年は、九州大学伊都キャンパス内に約3,000人を収容可能なホールと管理棟を有する『椎木講堂』が完成し、同施設に九州大学本部機能が移転すると共に、伊都キャンパスで初めての大学入学式などが開催されたほか、生涯学び続ける人材を育成する基幹教育を行う『基幹教育院棟』や『九大ゲートブリッジ』、寮施設『伊都協奏館』『ドミトリーⅢ』も完成しております。

また、九大学研都市エリアでは、水素エネルギー利用機器や製品に関する国内唯一の試験施設である水素エネルギー製品研究試験センターにおいて、平成26年4月に水素ステーション用の大型水素容器の試験が可能な『CRADLE棟』が竣工しました。

12月には燃料電池自動車（FCV）が市販開始され、水素エネルギー社会がまた一歩身近な存在になると共に、九州大学・九大学研都市エリアが水素エネルギー関連の世界的研究開発拠点として注目を浴びたことを実感した一年でありました。

今年は、平成27年10月の九州大学伊都キャンパス理学部開校に向け、『理学系総合研究棟・講義棟』や生活支援施設の整備が進むほか、『共進化社会システムイノベーションセンター』、『カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所第2研究棟』、『先導物質化学研究所』等の研究施設や、『国際化拠点図書館』の整備も予定され、教育・研究開発環境の充実度も更に高まって参ります。

このような中、OPACKといたしましては、我々の強みであります地元産学官との連携を更に強め、「知の時代」にふさわしい「知の拠点」・「知的クラスター」づくりを目指す九州大学学術研究都市構想の実現に向けて「広報活動、研究支援、交流支援、立地支援」に積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



活動報告

「再生可能エネルギー 先端技術展2014」出展

平成26年10月8日（水）から10日（金）までの3日間、福岡県北九州市の西日本総合展示場にて開催されました「再生可能エネルギー先端技術展2014」に共同出展しました。

OPACKは、九州大学学術研究都市における水素エネルギー研究施設の集積状況や様々な研究施設の立地状況に関するパネル展示、各種パンフレットの配布および説明を通じて来場者に九大学研都市の魅力をアピールしました。



写真：展示会ブースの様子

OPACK交流会開催 (九大公開講座と連携開催)

OPACK交流会は、企業を対象に九州大学研究者のシーズ発表や交流の場を提供し、産学連携の契機づくりや研究シーズの掘起しに繋げることを目指して開催しています。

一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）と連携し九州大学工学研究院応用化学部門公開講座とOPACK交流会を例年開催しており、今年上期に引き続き、下期も11月1日～12月13日の公開講座と交流会を開催し459人の方が参加されました。



写真：公開講座の様子

「アーバンデザイン会議九大(UDCQ) 留学生との交流イベント」開催

平成26年10月18日（土）、九州大学伊都キャンパスにて「アーバンデザイン会議九大留学生との交流イベント」を開催しました。



写真：イベントの様子

本イベントは、九州大学伊都キャンパスに協奏館とドミトリイⅢの2つの寮が完成し、新たに

150名の留学生が生活を始めるに際して、留学生にも住みやすい国際文化都市の実現を図るため、日本人学生・先輩留学生・地域住民や団体等が参加する文化交流イベントとして開催したものです。

イベントはポトラック形式（1人1品持ち寄り制）で開催し、当日は約100名が参加し、文化交流を深めることが出来ました。

第2回いとにぎわい祭り ～結ぼう、交流の輪～ 開催

平成26年9月28日（日）、JR九大学研都市駅南口広場・さいとぴあ・イオン福岡伊都店を会場に「第2回いとにぎわい祭り」を開催いたしました。

このお祭りは、九大学研都市エリアの人と人、人と地域、地域と地域を結ぶお祭りをコンセプトに開催しているイベントです。

第2回目となるイベントも晴天に恵まれ、九州大学やOPACKのほか40を超える地域の団体が参加し、ご当地糸島半島の魅力ある食べ物・クラフトの販売や、ワークショップ・パフォーマンスなどで会場を盛り上げ、約3,500人の来場者がイベントを楽しみました。



写真：いとにぎわい祭りの様子①



写真：いとにぎわい祭りの様子②



お知らせ

展示会への出展

国内外の関連企業・大学・国公設研究機関等が数多く参加しております、下記の展示会へ出展します。

OPACKブースでは、パネル展示等と併せて常駐スタッフが研究機関等の集積が進む九大学研都市の魅力をご紹介します。

是非、ご来場ください。

nano tech 2015

ナノ材料・素材、超微細加工技術、評価・計測分野をはじめとする応用分野における世界最大の最先端テクノロジー展示会。

会期：平成27年1月28日(水)から
平成27年1月30日(金)まで
会場：東京ビッグサイト

FC EXPO 2015

水素・燃料電池の研究・開発・製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、及び燃料電池が一堂に出展する国際専門展示会。

会期：平成27年2月25日(水)から
平成27年2月27日(金)まで
会場：東京ビッグサイト

✉メルマガ会員募集中

九大学研都市メールマガジンは、九大学研都市エリアのイベントや自治体、大学、産学連携、研究機関の活動情報など、九大学研都市に関する最新情報をお届けするメールマガジンです。

申込方法

<http://www.opack.jp/>
からメールマガジン募集ページにてお申込みください。



九州大学学術研究都市に立地する研究機関・企業の紹介

このコーナーでは、九州大学学術研究都市に立地する研究機関・企業の紹介を行ってまいります。

九州大学「スマート燃料電池社会実証」

平成26年8月、九州大学において、次世代燃料電池として期待される固体酸化物形燃料電池(SOFC)の劣化要因の解明手法を確立するとともに、家庭用燃料電池の普及拡大や業務用・産業用燃料電池の本格的な市場導入につなげることを目的とした「スマート燃料電池社会実証」がスタートしました。グリーンアジア国際戦略総合特区の事業の一つとして、総合特区推進調整費を活用して実施されています。

総合特区を活用した「スマート燃料電池社会実証」

高効率・低炭素・フレキシブルな発電・貯蔵・利用システム実現

エネルギー貯蔵実証

- 水素ステーションでの、燃料電池、太陽電池、風力発電機の電気による水電解水素製造と貯蔵
- 大量エネルギー貯蔵の運用性検証



水素ステーション



太陽電池



風力発電機

スマートモビリティ実証

- 水素燃料電池自動車の社会実証
- 水素社会システムの運用性・社会受容性の検討



水素燃料電池自動車

次世代燃料電池社会実証

産業用発電用
燃料電池

(業務用・産業用・発電用・家庭用・車用・再エネ用・宇宙航空用など)

- 本格実証サイト整備
- 次世代燃料電池実機実証
- 性能・耐久性の詳細評価

次世代家庭用
燃料電池業務用
燃料電池

次世代燃料電池評価手法確立



環境制御高温E-TEM

- 原子レベルでの高温可視化顕微評価
- ナノレベルでの高温可視化顕微評価
- 燃料電池セルスタック集中評価



高温E-FIB



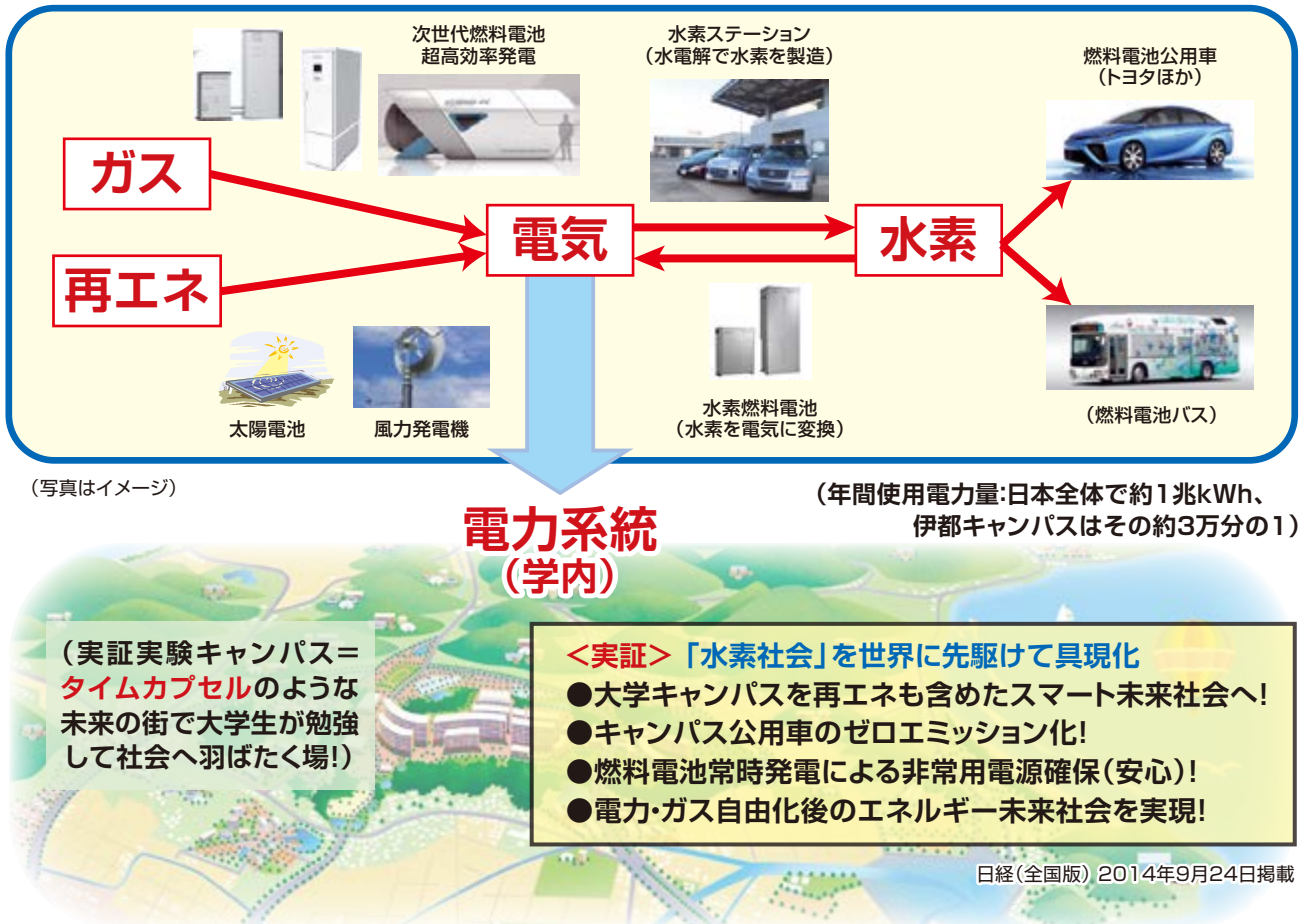
評価装置

(写真はイメージ)

本実証事業は、九州大学 次世代燃料電池産学連携研究センター(略称:NEXT-FC、センター長:佐々木一成主幹教授)が実施主体となり、次世代燃料電池の高効率化、耐久性・信頼性の向上、低コスト化のための評価・実証を進めるものです。また、伊都キャンパスを実証フィールドとしたSOFC実機による系統電力との連携や再生可能エネルギーからの水素製造及び貯蔵、燃料電池自動車(FCV)からの電気供給などの実証を行い、次世代燃料電池の利用分野の拡大につなげ、次世代燃料電池を核としたエネルギー社会の実現を加速します。

九大伊都「水素キャンパス構想」の具現化・実証

燃料電池・水素エネルギーを使いこなす「水素社会」を具現化!



■ グリーンアジア国際戦略総合特区と総合特区推進調整費について

- 福岡県、北九州市及び福岡市は共同で、環境を軸とした産業の国際競争力を強化し、アジアから世界に展開する産業拠点の形成を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」を推進しています。
- 「スマート燃料電池社会実証」は、次世代燃料電池分野におけるグリーンイノベーション研究拠点の形成を加速させるものであり、総合特区制度における財政支援措置の一つである総合特区推進調整費17億5千万円を活用して実施されています。
- 総合特区推進調整費とは、特区計画の実現を支援するため、各府省の予算制度を重点的に活用した上でなお不足する場合に、機動的に各府省の予算を補完するものです。(平成26年度予算額95億円 内閣府)

(実証について)

- ◆ 九州大学 次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 TEL: 092-802-3303
E-mail: info@fc.kyushu-u.ac.jp URL: http://fc.kyushu-u.ac.jp/

(特区について)

- ◆ グリーンアジア国際戦略総合特区共同事務局 (福岡県 商工部 産業特区推進室内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 TEL: 092-643-3416
E-mail: greenasia@pref.fukuoka.lg.jp URL: http://greenasia.jp/

九大学研都市に関する自治体からのお知らせ

福岡県

～「ふくおかFCVクラブ」を設立しました～

県内でFCV(燃料電池自動車)の普及を進めるため、産学官が一体となって「ふくおかFCVクラブ」を設立しました。このキックオフイベント(8月19日開催)には、地元経済界を中心に400名以上の方にご参加いただいたところです。

同クラブでは、県内各地での運転試乗会や普及促進セミナーの開催、企業や自治体でのFCVの率先導入など、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に進めていきます。



写真:「ふくおかFCVクラブ」キックオフイベントの様子

<ふくおかFCVクラブ>

●活動内容: FCVの率先導入

FCVの魅力を実感してもらうための運転試乗会
FCVや水素ステーションに関する情報の提供
FCVを購入された会員を当クラブのホームページで紹介(希望制)
FCVユーザーに対する特典・サービスの授与など

●会員数: 220企業・機関(平成26年11月現在)

●URL: <http://www.fcyclub.jp/>

●お問合せ: 福岡県商工部自動車産業振興室 (電話番号 092-643-3447)

福岡市

～コンベンション開催サポート相談窓口を設置しました～

福岡市の外郭団体である「公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー」のコンベンション専門部署「Meeting Place Fukuoka」は、2014年9月より「福岡市産学連携交流センター」(住所:福岡市西区九大新町4-1)2F商談室に「コンベンション開催サポート相談窓口」を設置しました。窓口設置は毎週水曜日、午前10時から午後4時までとなっています。コンベンション開催に関する様々な事柄でお困りの場合は、まずご一報ください。無料にてお手伝いいたします。

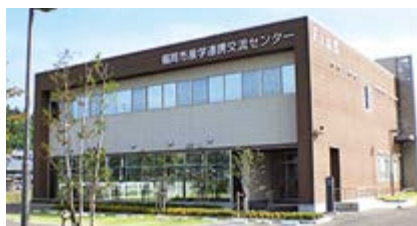


写真:福岡市産学連携交流センター

【お問合せ窓口】

公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
Meeting Place Fukuoka
福岡市中央区天神1-11-17 福岡ビル4F
TEL:092-733-0101 / (携帯)080-8373-9659
FAX:092-733-3100
E-mail:hori@welcome-fukuoka.or.jp

糸島市

～夢のマイホーム購入を応援～「糸島市マイホーム取得奨励金」

糸島市では、糸島市内で住宅を取得した人に、3年間、建物の固定資産税相当額を奨励金として商品券で交付する「マイホーム取得奨励金」制度を始めました。

【制度概要】

《対象住宅》

糸島市内で取得した床面積が50平方メートル以上の住宅(併用住宅は、居住用部分の床面積が全体の床面積の2分の1以上で、かつ、50平方メートル以上のもの)。

《対象者》

- ・平成27年1月2日から平成31年3月31日までの間に新築または売買により対象住宅を取得した人。
- ・糸島市に定住する意思を持ち、対象住宅に居住し、糸島市の住民基本台帳に記録されている人。
- ・市税を滞納していない人。
- ・暴力団員等でない人。

※糸島市外からの転入者だけでなく、糸島市内在住者も対象です。

《申請》

申請方法は、糸島市学研都市づくり課へ問い合わせるか、糸島市ホームページをご覧ください。

《問い合わせ先》

糸島市学研都市づくり課 Tel:092-332-2064



※写真は「糸島生活」のイメージです。